

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中田耕治 編集責任者 島山広幸 制作・編集 33期広報委員会 印刷所 東京印刷快

10月OB交流例会開催

平成19年10月15日（月） ホテルサンルート米子



第1章 現状・課題、第2章 アピール、第3章 マッチング、第4章 将来の4部構成によるOB交流例会がビジネス委員会主催で開催された。例会スタートからOB会員の方々

にもご参加いただき、久しぶりの綱領唱和で現役時代をおもいだして参加いただけたのではないだろうか。冒頭、中田会長は『会長挨拶も慣れてきたが、言葉は伝える方法というのがいろいろあり難しい。』と挨拶され、引き続き白石博昭新入会員にバッチ授与が行われた。委員長タイムでは魅力アクション委員会の加藤委員長が、いろんな懸賞に応募する懸賞生活の魅力について話し会場内の笑いを誘った。例会の第1章では、講師に伊木公認会計士事務所の伊木隆司氏をお招きし「右肩上がりの経営計画」～商売繁盛を目指して～と題し、われわれが認識すべき現状についてご講演いただいた。「世界経済の基本構造が1995年以降に大転換を迎え、地方の財政がどんどん厳しくなるなか、われわれは国に試されているのではないのか。どうしたら地方経済

が良くなっていくのかを真剣に考えなければならず、地道な努力、小さな一歩を踏み出すことが必要である。」と語られた。また、経営計画を作ることの必要性、大切さについてもお話いただいた。



第2章からは会場を移りOB会員と現役会員がより親睦を深めることができるよう懇親会形式で行われた。乾杯にあたり第7期卒会の松田一三OBが「任怨分謗(にんえんぶんぼう)」という好きな言葉を若い会員に送られた。「任怨分謗」という言葉は、「なにか事業や政治でも新しいことを改革しよう



とする時は誰かの怨を買うものだが、怨みを気にしてはやりとげられない。敢えて怨を受けてもやりとげる。志を共にする仲間が怨を受けたときは分担してかばってやる気概が必要である。」といった意味であり、「皆も仲間をかばい目的に向けて頑張ってほしい」とエールを贈られた。



第2章では広報委員会の石川委員長、第28期卒会の小林OB、第29期卒会の山城OB、第27期卒会の堀田OBの4名がそれぞれ壇上で会社や仕事のアピールをされた。

つづいて第3章では伊木氏、第13期卒会の

杉原OB、第27期卒会の奥森OB、第32期卒会の村岡OBがステージ上で大山の自然や水、結婚式などのビジネスマッチングについて熱く語られた。章の最後に伊木氏は「われわれはもっとこの地域の外に出て見聞を広めることにより、さらにこの米子のすばらしさを感じられるようになる。」と語られた。われわれの地域に当たり前のよう存在すると感じる大山。その本当のすばらしさを再発見することで、もっとビジネスチャンスにつながっていくのではないかと思った。

そして最後の第4章ではビジネス委員会のメンバーがステージに上がった。応援団長風の気合の入った佐々木委員長が「現役とOBの垣根を取り払いどんどんビジネス交流を深

めていただけないでしょうか。」とOB会員へお願いした。

中締めにあたり第7期卒会の須山OBが「会としても地域社会における責任は重大である。ひとりひとりがそれぞれの立場において地域で活躍してほしい。」と語られ例会は終了した。

今回のOB例会も大勢のOBが参加され、入会年度の浅い会員にとっては交流を深める絶好の機会になったに違いない。これからも大勢のOB会員が参加していただけるような会の雰囲気作りが必要であると感じた。結果的にそれがビジネスチャンスを生み、地域の発展につながるであろう。

記事：高野



委員会活動 **ビジネス委員会**



押忍！

佐々木委員長率いる我々第33期ビジネス委員会は、英知・友愛・団結の元、今一度原点に戻りビジネスを成功させ利益を増やすという基本的な経済活動を様々な角度から考察し、実践していくことを方針に活動し

ております。

具体的な活動として、中央会ホームページを活用したビジネス委員会ニュースの発信、オープン委員会の開催、そして先日行ったOB交流例会の開催などです。

単年度の活動ですが、各会員の商売が少しでも繁盛する事を目指した活動を行い、かつ会員間のつながりが偶然の出会いでなく運命であり必然性を感じさせるものとなるよう、毎月の委員会後も2次会・3次会活動を積極的にいき懇親を深めております。

今後はビジネス委員会ニュースの発信、オープン委員会の開催はもちろんですが、先日OB交流例会で試みたビジネスマッチングを会員間で具体的に実現できるよう

に、ビジネス委員会が橋渡しの役割を担えたらと思っておりますので、現役会員の皆様、OB会員の皆様、提案がありましたらビジネス委員会にどんどん相談して下さい。

格差社会と言われるなか地方では厳しい経済状態が続いておりますが、右肩上がりの経営計画をそれぞれの立場で考えながら、地道な努力で小さな一歩を踏み出すことを皆で考えていけるようなそんな委員会を目指して行きたいと思っております。

重ねて、中央会ホームページの掲示板に掲載中であり、ビジネス委員会ニュースのネタ(どんな些細な事でも結構です)も随時募集しておりますのでこちらも是非ご連絡の程よろしくお願ひします。

最後に鳥取県西部中小企業青年中央会会員の商売繁盛を目指して— **エイ！ エイ！ オー！！**

OB訪問



28期卒会
後藤秀之OB

ご入会のきっかけは？

OBである小原得雄さんに誘われたことがきっかけで、『自己研鑽の場・異業種交流の場として同年代の人達が集まっている』という話を聞き、興味を持ったので入会させていただきました。

最初のイメージはどうでしたか？

当時は今と違って、入会は前期・後期の2度しかありませんでした。特に初めの1年は“必ず出席！”という気持ちでがむしゃらに活動に参加してきたので、そういうものを通じて、面白い会だなあというイメージになっていきました。

一番思い出に残っていることは何ですか？

それは、やっぱりトライアスロンですかね。マラソン部の部長を3回させてもらった、というのは思い出深いものがあります。“仮に中央会がトライアスロンから離れることがあっても、俺たちはボランティアでマラソン部をしよう”みたいな雰囲気、部にただよってそんな中で部長の仕事させてもらったのは、本当に幸せだったと思っています。

最後に現役会員へのメッセージをお願いします。

“自分をガンガン売っていこう！”ということは、一つ言っておこうかな。OB交流会なんかにお邪魔しても、以前なら向こうから会社とか自分自身をどんどんアピールしたもんですけど、今はおとなしい人が多い気がしますね。せっかく経済人として会に参加しているんだから、若いパワーを見せつけてもらいたいですね。

後藤OBには、上棟のお忙しい時期にもかかわらず快く取材を受けていただきました。普段はシャイな方なので、夜一席設けながらのインタビューでしたが、お陰でいつまでも変わらない、熱く若いお考えをきくことができ、大変うれしい時間をすごすことができました。益々のご活躍を期待しております。 記事：松本

Creative&Action

「トライアスロンへの挑戦」

押藤 博幸

思い起こせば8年前、「皆生トライアスロン」のボランティアをしたときから私のトライアスロンへの挑戦が始まった。何気なく見たスイムのスタート、何百人もの選手が一斉に沖へ向かって泳ぎ出す姿に、これまでに味わったことのない衝撃を覚えた。地元にながら、今まで皆生大会の存在を知らずにいたことがとても残念にももえた。翌年のボランティアでは更にトライアスロンの奥深さに惹かれ、自分も選手として出場してみたいと強くおもうようになった。

次の日にはマラソンを始め、翌月にはスイミングスクールに通い、知人から格安でバイクを譲ってもらって練習を始めた。マラソンはもともと得意なこともあり自信があったが、一番の問題はスイムだ。幼い頃に溺れたことがあったため、海に入ること自体に恐怖心があった。それを克服するために、初心者コースでのビート板を用いた練習から始めなければならなかった。

大阪でのショート競技にチャレンジしたときは、ウェットスーツの息苦しさに加えて底の見えない汚い海にパニックになりそうになったが、何とか乗り切ったことが皆生大会出場への自信につながった。ようやく3kmを泳ぎきることができたのは、大会直前の6月に入ってからのことだった。

フルマラソンの練習では彼女(今の嫁)に自転車で伴走してもらい、友人には練習会に誘ってもらったりと、大勢の人に支えられながら皆生大会出場にこぎつけた。大会当日も友人や中央会のメンバーに応援していただき、何とか完走することができた。自分一人の挑戦のつもりが、多くの人の応援・協力なしにはできないことを実感し、とても大切なものを得ることができたとおもう。この感動と感謝を心に感じながら、これからもまだまだ挑戦し続けて行きたいとおもう。

県中親睦事業

『サッカーで共感しよう！！』

平成19年10月28日(日) バードスタジアム

今年の親睦事業は『サッカーで共感しよう！！』をテーマに、鳥取市のバードスタジアムで行われました。芝生でサッカーなんて、なかなか体験できる事ではありません。皆、『早くボールが蹴りたい！！』といわんばかりにピッチに飛び出していました。各々好き勝手にボールを蹴り飛ばして、なんだか日頃の鬱憤をぶつけているようにも見えました。開会式で塚野氏の挨拶の中で、「以前、開始2分で複雑骨折なんてこともあったので、楽しんでプレイしましょう。」の言葉に、すごく真面目に準備体操した自分でした。試合はガイナレの選手も交えて行われました。前線で常にボールを待つ後藤副会長の2ゴール、幾度となくピンチを救った土岐会員のファインセーブ、福田直前会長(プレイングマネージャー)の迷采配?、左サイドを駆け上がるM会員のストコドッコイぶりなど。翌日、いや、翌々日の筋肉痛に悶絶する事など考えず、大いに盛り上がりました。優勝は西部①チーム。親睦事業で常勝の西部に東部会員から「西部は負け

ず嫌いだ。」とお声が・・・。勝ちにこだわる西部としては当たり前事でしょうか。PK戦も行われ、ガイナレのゴールキーパー有する中部チームが鉄壁の守りで優勝をしました。会場を対翠閣に移し表彰式を兼ねた懇親会も盛り上がった事は言うまでもありません。

今回の親睦事業で新入会員の参加者がいなかった事がとても残念ですが、参加する事で得るものは大きいとおもいます。例会、委員会だけが中央会ではないということを感じた一日でした。

記事：安岡



中央会アーカイブス

『消えた男』

「後一時間程したら着くから始めといて」委員長からの最後の連絡だった。

委員長不在の中、代役を引継いだ副委員長は戸惑いながらも委員会を無事終了させ、コンパニオンを交えての忘年委員会懇親会は始まった。約束の1時間を過ぎても委員長は現れない。副委員長は何度か委員長の携帯に連絡を入れるが一向に繋がる気配もない。不安の色を隠せない副委員長に同情したわけでもないだろうが、コンパニオンの一人が場を盛り上げようとやたら一気飲みを始めた。なんとなく重苦しい雰囲気は一変し、会員達もつられるようにピッチが上がる。委員長が来るかもしれないとネオン街には繰り出さず同じ場所で個室に移り2次会もコンパニオンを延長して行うことになったのだが、前出のコンパニオンが気持悪いと言い出し横になってしまった。ご丁寧に布団まで引っ張り出し虚像のやさしさを見せる者もあれば、風呂場から桶を持ち出し、背中をさすり介抱するフリをする者などこの先は想像におまかせするしかない光景となった。やさしさの押し売りを受けてかどうかは定かでないが、明らかに顔色が悪くなってしまったところで、本当に介抱しなければならなくなった。救急病院に連れて行き急性アルコール中毒との診断に一同反省。点滴を受け、送り届ける頃には元気になった彼女の「委員長とうとう来なかったね」という一言がこの日のドタバタを物語っているようだった。行方知れずとなった委員長は程なくして退会し、残りの半年を副委員長が代行として立派に務め上げた。委員会のメンバーも委員長不在のハンディーを克服しよう一枚岩となったが、今後このような形で結束力を強めるのはご免蒙りたい。今にして思えば、彼が何故そのようなことになってしまったのか理由は解らないが、自分も含めて会員の誰か彼の苦しみを聞き、和らげてやるのが出来なかったのかと悔やまれてならない。もしかするとあなたの隣の会員が苦しみの淵にいるのかもしれない。

記事：●●

中央会の思い出

多賀彰穂会員

数え切れない思い出があるが、ひとつあげるならやはり音楽(バンド)活動だ。

二十年ぶりに始める音楽活動は、上手いかず大変なこともあるが、ひっくり返って超楽しかった。米子市から余芸大会の出演依頼があり、いつかの委員会後、飲み会の席でそのことを聞いた。私はキーボードでメンバーに加えていただき、練習に励んだ。

おかげでビッグシップという大舞台で演奏するという、大変貴重な体験をさせていただいた。その後も何度か演奏する機会を与えていただき、音楽にどんどん引き込まれていった。

音楽の世界は深く広い。今では子供と一緒に楽しんでいる。

うどんのススメ

長田賢一会員

うどんの作り方を紹介します。まず作り方の前に「おいしいうどん＝コシが強い」の「コシ」はどうして出来るのかというと、小麦粉に含まれているタンパク質は「小麦粉」のままではグリテニンとグリアジンという物質で、この小麦粉に水分を含ませて練ることにより物質がくっつきあい「グルテン」という粘り気のある物質に変化します。これがうどんのコシになるわけです。

ボールに小麦粉を入れ、塩水を注ぎ指先で切るように混ぜばそばその状態になったら拳に体重をのせ押さえながら小麦粉を塊にします。ある程度小麦粉が塊になったらポリ袋に入れ足で踏み塊が平たく広げ、たたみ込んでまた踏み全体がしっとりとするまで繰り返したら布団の中で熟成させます。(夏は30分以上、冬は2時間以上を目安)熟成させた塊を軽く踏んで平たくしてから伸ばし棒を使って厚さ3mm程度に伸ばします。次にうどんの切り口がくっつかないように小麦粉を表面にふりかけ、折り目をずらしながら階段状に折り4～5mmピッチで切ります。次に生めんに対し10倍程度の湯を沸騰させ、まな板に残ったカスの小麦粉を湯に入れます。こうすればゆでている最中にうどんが煮崩れしません。その後ばらばらとうどんを湯に入れます。再び沸騰しうどんが浮いてくるまで混ぜないようにし、途中でカップ1杯の差し水をしてうどんの内外の温度差を一定にします。茹時間は15～30分位でうどんを透かして芯がわずかに残っている状態がゆで上がりのタイミングです。最もおいしい食べごろは、ゆで上がりから10分間のうどんに芯が残っている間です。

材料は、小麦粉500g・塩28g・水240cc 5人前分です。一度家で作ってみてください。

常夏の国より

長谷川貴久会員

最近の仕事で飛行機に乗る機会が増えてきた。中でも国際線が多いのだが、渡航先の国内線に乗ることもある。移動中は特にすることがないので「本でも読むべえ」となるわけだが、最近よく手にする本に“乗務員やパイロットの体験モノ”がある。大まかな内容といえば、とんでもない乗客や乗務員の話だが、だからと言って軽薄な本と馬鹿にすることなかれ。ふと目を上げて周囲を見渡すと、本の内容にそっくりな光景を目の当たりにすることがある。

例えば通路に脚を投げ出して、ミールを提供する乗務員とカートの進行を阻害したり、トイレに行こうと無理矢理その横を通り抜けたり、イヤホンを着けたまま無言で飲み物や食べ物を受け取ったり…。長時間におよぶ子供の泣き声は、特に日本人とインド人に多く見られるが(私的見解)、昼間はまだしも夜行便でこれに遭うと正直きつい。隣の人が靴を脱ぐのはまだ我慢できるとしても(臭うのは困る)、本当に裸足になってしまう人がいたのには驚いた。話によるとファーストクラスでステテコ姿になる政治家もいるのだとか？

航空法の保安規定が変わってしばらく後に、携帯電話の電源を切らない乗客が逮捕された事件は記憶に新しいが、隣の乗客が離陸時間になってメールを打っている姿を実際に見たときには、本当にどうしようかとおもった。機内は紳士淑女のマナーが必要とされる、いわば国際的公共の場である。機内でのマナーを守れない人が、果たして自国での公共マナーを守れるのだろうか？かくいう私自身も思い当たる節があり、最近「お願いします」と「ありがとう」の基本から習慣付けている今日この頃である。

以上、常夏の国より

企業・お店の営業マン

長谷川洋司会員

豆知識というよりも、看板の活用方法についてお話させていただきます。皆様は、看板についてどのようにお考えでしょうか？主に広告宣伝の方法としては、チラシ等の紙媒体やテレビ、ラジオ等の電波媒体がありますが、実は看板も使い方や見せ方によっては広告媒体として幅広く活用していただけるのです。例えば、都会の駅周辺等の人が集まる場所には必ずといっていい程たくさんの看板があります。これは広告として高い宣伝効果が得られるからでしょう。これを地元地域に置き換えてみると、山陰は交通手段が車で移動ですので、道路際に建てられている野立て看板は地域で生活する消費者に対して強制的に目にする機会を与えてくれます。また、反復してPRしているので記憶に残り、無意識のうちに見聞きしているのイメージの定着も計れます。

また、場所によって大きさとインパクトを与えることで「企業の姿勢」「信頼感」「存在感」を感じさせることができます。活用方法としても、イベントの告知・キャンペーンの告知・新商品のPR等と掲載内容を更新させ、タイムリーに情報発信することで消費者に対して誘導、購買行動に繋がる効果が得られるとおもいます。さらに他広告媒体とメディアミックスして情報を発信することで、さらなる広告効果が得られることでしょう。

看板も使い方によっては雨にも負けず、風にも負けず、文句一つ言わない「企業・お店の営業マン」として活用できるのです。

中海テレビ放送杯 野球部大奮闘!



第14回中海テレビ放送杯に我が鳥取県西部中小企業青年中央会 野球部はこの度9回目の参加であった。野球部員30名。前年の1回戦コールド

負けの敗退をバネに今年こそはと、中海テレビ放送杯にむけて、部員全員のモチベーションも高く、練習参加人数も20名近くになり実戦形式の練習、紅白戦を重ねてきた。

10月14日(日)開幕日の第2試合 1回戦の対戦チームは昨年コールド負けした、BIG MOUTH。昨年のリベンジに燃える、先発を任された牧田投手は緊張からか、制球に苦しみ立ち上がり相手チームにつかれ3失点。その後2回、3回は後続を退け、4回に勝田投手に継投。両チーム零点が続き最終回7回表、福田監督より「魂をみせろ」のゲキからTSCの反撃が始まった。代打、坪藤選手出塁後、2盗に成功しベンチは押せ押せムード。その後チャンスを広げ、松江選手のセンターオーバーの3塁打、走者一掃、同点に追いつくと、続くは後藤公平選手。ベンチ全員祈るような思いでバッターボックスにいる後藤公平選手に視線を集中。見事に勝越しタイムリーヒット。まるでサヨナラヒットのような盛り上がり。しかし、最終回7回裏にノーアウト満塁の大ピンチ、誰もが同点は仕方がないと思っていたが、勝田選手、ファーストアウトを

狙いにいった三振。つづく後続をしっかりと抑え見事なチーム一丸となった逆転勝利、昨年のリベンジを果たした。

ベスト8をかけて、10月21日TEAMフロリダと対戦。

1回戦の勢いを生かし、2回戦も突破と、チーム一丸となり戦いに望んだが、0対4にて敗戦しました。大会期間中、OBの方、現役会員の方、ご声援誠にありがとうございました。来年第15回中海テレビ放送杯にむけ新たなスタートが始まる。

記者名:野球部 有和豊光



10月度委員会報告

会員力委員会

平成19年10月4日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/9名
議題/・9月担当例会の反省
・新入会員オリエンテーションについて
・会員拡大について
・4月担当例会について

地域ビジョン委員会

平成19年10月11日(木)於:昌庵 出席者/9名
議題/・商品企画、提案について
企画、提案された商品を試食し意見交換・課題点の議論

環境問題委員会

平成19年10月5日(金)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/12名
議題/・11月担当例会について
内容検討、役割分担
・講師先生による講演
テーマ:「生き物から見た環境」 講師:第29期足立徹OB

ビジネス委員会

平成19年10月4日(木)於:ホテルサンルート米子 出席者/12名
議題/・OB交流例会について
タイムスケジュール、担当者最終確認
例会会場にて設営等の確認
・10月12日(金)臨時委員会開催

魅力アクション委員会

平成19年10月10日(水)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/6名
議題/・講師先生による講演
テーマ:「よなごの水について」
講師:米子市水道局 田中道雄局長・金田眞吾係長
・3月担当例会案について
・11月委員会について

政治行政委員会

平成19年10月4日(木)於:ウェルネス・インほうき路 出席者/8名
議題/・趣意書文章の件
・米子市街地復活に関する高校生アンケートについて
アンケート配布、回収の時期及び配布担当者を決定
アポイントマニュアル作成

広報委員会

平成19年10月9日(火)於:レストランぶどうの木 出席者/12名
議題/・ハンサムについて 紙面割付、各担当分担
・HPについて
HPリニューアルの検討
・会員拡大について

総務委員会

平成19年10月4日(木)於:南クーリエ宅配サービス 出席者/10名
議題/・内規について
入会推薦書での推薦者の基準案、入会金及び登録料解釈基準案
・忘年例会について
内容検討

11月役員会報告

11月定例役員会が平成19年11月1日(木)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
・10月例会の反省・報告の件
・11月例会開催の件・その他
※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

11月例会案内

と き:平成19年11月14日(水)
18:30~食事 19:00~開会
ところ:米子全日空ホテル
内 容:パネルディスカッション(予定)
担 当:環境問題委員会

編集後記

トライアスロンが終わった翌日、疲れた体にムチ打って仕事に出ていたときのことで。トイレで「大きいの」をしていると、なんとビックリ!「血液まみれの犬」と遭遇!!
日頃の不摂生の心当たりがあるだけに、この歳でお迎えにこられたのかと青ざめてしまい、仕事を投げ出し病院へ急行。『目を改めて大腸にカメラを挿入しよう』と薦める医者に、『そんな恥ずかしいことできるか』と心の底で叫ぶが言いなりに!
検査日までの数日は、家族の今後が気になって何事も手につかない日を過ごし、いよいよ挿入日!白く眩しい光を放つヤツが、大腸をエグルこと約15分、検査医から『入口にちがうだけです』と言われ、安堵感に包まれながら数日間に及ぶバトル終了。
若くない青年のみなさん、家族のためにも各種検査をしてみたいかがですか?

広報委員会

新規企業設立

会社名:株式会社 エル・グラッド 代表取締役 多賀彰徳
住 所:〒683-0851 鳥取県米子市夜見町2429
電話番号:0859-29-3163